

介護基盤は全国最下位

石原都政

都議会予算特 吉田議員が転換迫る



石原都知事を追及する吉田信夫都議(23日、都議会予算特別委員会)

日本共産党の吉田信夫東京都議は23日の都議会予算特別委員会で代表総括質疑に立ち、石原慎太郎知事が高齢者福祉を狙い撃ちに削

った結果、特別養護老人ホームや老人保健施設、短期入所施設など介護基盤の整備率が全国で最下位の水準(表)に後退させたことを告

発し、高齢者の安心の確保を最優先にする都政に転換するよう求めました。

吉田氏は、高齢者人口に対する特養ホーム

の貧弱な整備計画すら未達成だと批判しました。対応するののか」と質問し、用地費助成の復活をはじめ整備費の抜本引き上げを迫りました。

また、認知症高齢者のグループホームや小規模多機能施設、短期入所(ショートステイ)施設の高齢者人口に対する整備率は全都道府県で最下位の47位

に、5年間で5150人が2004年に4万1000人を超えたのに、5年間で5150

また、認知症高齢者のグループホームや小規模多機能施設、短期入所(ショートステイ)施設の高齢者人口に対する整備率は全都道府県で最下位の47位

吉田氏は高齢者世帯の比率が高い東京都、特養ホームの入所待機者が2004年に4万1000人を超えたのに、5年間で5150

後退したのは、用地費助成の廃止など特養整備費の補助予算を半減させたことが要因だと指摘。「知事は現状をどう認識しどう

も遅れた水準の結果、無届け有料老人ホームやデイサービス(通所

介護事業所)での長期宿泊を余儀なくされる事態が起きている」と迫りました。石原知事は答弁に立

東京都における介護基盤の整備状況

特別養護老人ホームの整備率	全国43位
老人保健施設の整備率	全国47位
ショートステイの整備率	全国47位
認知症高齢者グループホームの整備率	全国47位
小規模多機能施設の整備率	全国47位

(定員数/65歳以上人口、小規模多機能施設は事務所数/65歳以上人口)

通所介護事業所宿泊サービス

都独自の基準を創設

局長 答弁

たず、杉村栄一福祉保健局長は特養ホーム整備率が高齢者グループホームが47位であることを認めました。

東京都は23日、高齢者の宿泊サービスを行っている都内の通所介護事業所について、人員体制や利用者1人あたりの床面積、健康管理など独自の基準を設け、事業者に届け出を求め、3月をめぐりに創設すると明らかにしました。都議会予算特別委員会で日本共産党の吉田信夫都議に答えました。

産党都議団が昨年12月、独自に実態を調査し改善を提言したのを受け、都が調査を実施。同日1日時点で194事業所あり、火災時に自力で避難できない高齢者が多いにもかかわらず、防火体制が不十分な事業所が多いことが判明しています。

吉田氏は「特養ホームに入らず通所介護の宿泊サービスを長期にわたりに利用せざるを得る」と答えました。

吉田氏は「特養ホームに入らず通所介護の宿泊サービスを長期にわたりに利用せざるを得る」と答えました。